

要ヶ丘

発行



海士町立海士中学校

住所 海士町大字海士九四四番地

TEL 08514(2)0744

E-mail amajhs@town.ama.shimane.jp

島前小中連合音楽会

十月二十七日(木)西ノ島中学校体育館にて、第六十四回島前小中連合音楽会が行われました。約一か月という短い練習期間の中で、放課後や昼休みを使い、全員で一斉懸命練習してまいりました。その甲斐あって本番では、それぞれ満足のいく発表ができたのではないかと思います。左記に生徒の感想を紹介します。



今年、「プレゼント」と「大切なもの」という歌を演奏しました。私はプレゼントの指揮をやりました。最初は他に立候補がないから・・・ということに立候補したので、上手くできるかとても不安でした。でも、先生が熱心に上手に教えてくださって、本番は少しミスもありましたが、堂々と自信を持ってやることができました。歌うみんなも伴奏も、みんなで一つの演奏を魅せることができていることに良かったです。練習の時から「音の心は海士の心(意志)」をもつてできて良かったです。見に来てくださった方、指導してくださった先生方、本当にありがとうございました。【女子】



僕は今回指揮をさせてもらいました。始めは、指揮はただ指揮棒をなめらかにふれば良いだけだと思っていたけど、練習を重ねみんなの合唱が変わっていくと、みんなの心を一つにまとめるのが指揮の役割だということに気が付きました。僕は集中力がなかったのでそれをずっと意識するのは難しかったけど、とにかくみんなの心を一つにまとめるために集中することを目標に頑張りました。指揮自体も、「わきを閉めた方が良い」とか「笑ってやった方が優しい演奏になる」など、たくさんアドバイスを友達にもらい、自分の指揮がより良い指揮になっていくのを実感しました。当日は、今までにない緊張感の中の発表だったけど、目標をしっかり意識して楽しんでやることができました。みんなの心を一つにまとめるためにしっかり集中するという目標は達成できたと思うので良かったです。【男子】



全隠岐駅伝競走選手権大会

十一月十三日(日)隠岐の島町にて、第六十八回全隠岐駅伝競走選手権大会が行われました。夏休みから練習を重ね、毎日約十キロもの距離を走り込み、大会当日も一心不乱に激走する姿を見せてくれました。左記に生徒の感想を紹介いたします。



僕は、駅伝を三年間続けました。一年生の時はやる気があり、がむしやりに走っていましたが、二年生になると自分が負けるのが嫌で練習もやる気が出ず、一年生の時のように一生懸命走ることができませんでした。しかし、最終学年になり後輩を引っ張っていく立場になると「自分からやりたい」と思ってしまうことができました。今年はやったキャプテンとして、みんなをまとめる役になり、責任ある立場でしたがそれもしっかりとまとめることもできたと思います。去年よりも戦力が落ちて今まで一番きつい練習だったけど、今年よりもさらに上を目指して頑張っていました。最後に今まで指導してくださった先生、僕についてきてくれた仲間、感謝したいです。ありがとうございました。【三年男子】



夏休みから仲間と一緒に辛い練習を乗り越えてきました。私は最初で最後の駅伝だったので不安でしたが、仲間からの声や取り組み姿勢から私も頑張ることができました。雨の日も風の日も「自分たちのため」だと思い諦めませんでした。本番は「一歩でも一秒でも速くタスキをつなげる」を目標に粘り強い走りができたと思います。結果は残念でしたが、悔いはありません。私たちは、練習量も駅伝に対する姿勢もどの学校にも負けていなかったと思います。どんなにきついても声を掛け合い、最後までみんなと走れて嬉しかったです。走りたくなかった私に成長させてくださった先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。そして、一緒に頑張った仲間にも感謝しています。とても良い体験でした。【三年女子】



大会結果

○男子 三位(五十一分三十八秒)

《区間賞》四区・五区

○女子 五位(六十一分四十七秒)



出雲地区新人バレーボール大会

十一月十日(木)安来市伯太体育館にて、出雲地区新人バレーボール大会が行われました。隠岐の代表として臨んだ大会でしたが残念ながら初戦突破をすることはできませんでした。多くのレベルの高いチームを目にし、生徒たちも学ぶところが多かったようです。この経験をいかして日々の練習を大切にして頑張っていきたいと思います。【バレーボール部 顧問】



私達女子バレーボール部は、出雲地区一回戦目、多伎中学校と対戦し二―〇とストレート負けしてしまいました。私達はこの出雲地区で、新人戦で課題としていたサーブを入れることなどは改善できていたと思いますが、新人戦の時にできていたことが、できていなかったり、悪かったところがたくさんありました。県のレベルを実感して、自分たちの弱い部分がよくわかりました。今回の大会で見つけた自分たちの課題をこの冬に鍛えていき、今よりもチーム全体が強くなれるようにこれからの練習をしていきたいです。そして、春の大会でもう一度優勝し、次こそは自分たちの力を出し切って県の大会に挑みたいと思います。応援ありがとうございます。【二年女子】

大会結果

一回戦 〇―二(多伎中)

九―二五
八―二五

地域交流給食会

十一月十六日(水)本校ランクルームにて、第一回地域交流給食会が行われました。今回は、集落支援員の方五名、修学旅行の発表でお世話になった方八名、隠岐國学習センターの方七名、総勢二十名の方にお越しいただき、会食を通して交流を深めました。保健体育委員会を中心に、サイコロで話す話題を決めるなどして地域の方々と楽しい時間を過ごしました。



民謡特別公演鑑賞会

十一月十八日(金)本校体育館にて、東京浅草にある民謡酒場【追分】より、隠岐の島町出身の民謡歌手ゆかりさんをはじめとした、第一線で活躍される民謡芸人の方六名をお招きし、民謡特別公演鑑賞会が行われました。普段聴くことのない和楽器の音色や全国各地の民謡を聴き、日本伝統芸能についての知識を更に深める良い機会となりました。左記に生徒の鑑賞を紹介します。

民謡はあまり知らなかったけど、色々な民謡が聴けて面白かったです。三味線が速くて難しそうだったけど、上手に弾けていてすごいと思いました。また機会があったら聴きたいです。

【一年女子】

今まで民謡に興味がなかったし、あまり聴いたことがなかったけど、今回聴いてすごい迫力でした。歌も上手だったし、囃子ことばなど楽しくできたので良かったです。また、民謡を聴きたいと思いました。【二年女子】

民謡はキンニヤモニヤやしげさ節等が身近だけど、北海道や九州など他の地域の民謡を聴けたので良かったです。民謡を踊ることはあっても、じっくり聴くことはなかったので今回聴いてすごいと思いました。【三年女子】



JICA交流会

十一月二十四日(木)本校に独立行政法人国際協力機構(JICA)からアフリカ諸国の教師・教員養成機構等の行政職員の方十二名が来校されました。それに伴い、多文化を学ぶ国際的な視野を広げることを目的として交流会を行いました。キンニヤモニヤと一緒に踊ったり、アフリカのダンスを体験したりなど、お互いの文化を紹介し合い友好を深めました。



各種成績

○小中合同マラソン大会一位結果

- Cコース男子 (一年)11:45
- 〃 女子 (一年)13:31
- Dコース男子 (二年)15:14
- 〃 女子 (三年)18:27

○隠岐小・中学校図画作品展



「透きとおる海」
二年生 女子

《**県特選**》
一名
《**特選**》
五名
《**入選**》
九名



「思い出の船」
三年生 女子



「学校の働き者」
一年生 女子

○島根県読書感想文コンクール

《優良賞》 二年 女子

ノーマメディアデー啓発

ポスターコンクール

海士町PTA連合会から募集された標記のコンクールの審査の結果は以下の通りとなりました。今後もノーマメディアデー「一日、十五日」(一、十五日が休日の場合はその翌日)を意識して生活の見直しを図ってほしいと思います。保護者の方もご理解ご協力を



最優秀賞 作品
二年生 男子

《**最優秀賞**》
二年 男子
《**優秀賞**》
三年 男子
二年 男子

島前PTA連合会研修大会

十一月六日(日)海士町開発センター島民ホールにて、島根県教育委員会教育魅力化特命官の岩本悠氏を講師に招いて研修大会が開催されました。島前地区のPTAの方が百名程参加され、「魅力ある教育を目指して〜子ども・家庭・学校・地域を見つめ直して〜」と題した講演をお聞きしました。岩本氏の幼少期から現在に至るまでの生い立ちや親との関わり、島前の子どもの抱える課題など映像とともにわかりやすくお話いただき、非常に心に残る実り多い大会となりました。【飯塚】



教員による随想

あなたの今いちばんほしいものは何ですか?と聞かれたら、みなさんは何と答えますか?ゲーム?家?車?お金?時間?

間違いなく私の今いちばんほしいものは、どこでもドア。ずっと前からあったらいいなと思うものの一つではあったが、特に今年「あー、どこでもドアがあればなあ」と心の底から何度も思ったものである。スポーツ観戦が好きな私にとって、今年は当たり年である。リオデジャネイロオリンピック、甲子園、テニス(錦織圭選手)、相撲(隠

岐の海)、プロ野球(二十五年ぶりにリーグ優勝を果たした広島カープ)などなど:いつも以上に応援にも熱と力が入る。観戦をしていると、つい大きな声が出て家族には鬱陶しがられた。試合が接戦になったり応援している選手が負けたりすると「あー!私のこの熱い声援を直接選手に届けることができればいいのになー!」と歯がゆく思ったものである。「クソー!どこでもドア!」これが最近の口癖である。さて、どこでもドアが実在すれば一瞬で自分の行きたい場所に行ける。なんて便利なんだろう、と思う。その一方で旅行好きでもある私。船やバスや電車や飛行機など、乗り物に乗ることが旅の楽しさの一つであることも知っている。もし、どこでもドアがあったら:その楽しみはなくなってしまう。何でもそうだが、便利なものには長所と短所がある。決して悪い使い方はしないと誓うから、誰かどこでもドアを開発してくれないかなあと願う今日この頃である。

「愛の図書購入資金」贈呈式

海士町厚生保護女性会様より「愛の図書購入資金」として、ご寄付いただきました。

この資金を有効に活用し、図書室の図書の充実を図ることで本に親しむ生徒をさらに育てていきたいと考えています。誠にありがとうございました。

学校からのお願い

町内で転居された場合は、学校への一報を宜しくお願い致します。